

令和6年4月3日

## 農業大学校への支援について埼玉県と覚書を締結しました

埼玉県信用農業協同組合連合会(以下、「当会」といいます。)は令和6年3月28日に埼玉県農業大学校への支援に係る覚書を締結しました。

当会は設立以来、埼玉農業と県内JA並びに地域社会の発展を金融面から支援する金融機関として歩んでまいりました。また、当会ではJAグループの一員として「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」の達成を目指し「サステナブル経営ポリシー」を定め、金融機能の提供にとどまらず、環境負荷軽減や地域社会の活性化等幅広い活動に取り組んでいます。

当会は令和4年12月に「農業分野における気候変動対策・埼玉農業の振興に関する連携協定書(以下「協定」といいます。)」を埼玉県と締結し、持続可能な地球環境の保全及び埼玉農業の更なる発展に向けた支援を進めております。当会はこの協定に基づき、農業大学校が担い手の高齢化・不足という課題に対し、新たな農業者の育成に向け取り組む「農業大学校カリキュラム充実事業」について支援することを決定しました。具体的には、農業大学校における人材育成プログラムや高校生等チャレンジ講座の実施等を対象としており、令和6年度から令和8年度まで3か年総額6,000千円の支援を計画しております。

当会では今回の支援をはじめ、埼玉県が取り組む農業分野における温室効果ガスの削減への取り組みや気候変動に適応する栽培技術・品種開発の取り組みなど、多岐に亘る支援を一体となって進め、今後より一層の埼玉農業発展を目指してまいります。

埼玉県農林部長室にて覚書に署名

(左から 竹詰県農林副部長、横塚県農林部長、  
JA埼玉県信連 黒澤理事長・島崎専務)

